



平成28年12月22日

各 位

会 社 名 : 株式会社ワールドホールディングス
 代 表 者 名 : 代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉
 (コード番号: 2429 東証第一部)
 問 合 せ 先 : 取締役経営管理本部長 安部 英俊
 電 話 : 03-3433-6005

豊栄建設株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、豊栄建設株式会社の全株式を取得し子会社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 株式取得の理由

当社は、「人材・教育ビジネス」「不動産ビジネス」「情報通信ビジネス」と安定した3つの事業ポートフォリオによる事業展開をしております。特に「不動産ビジネス」の領域においては、不動産の流通・仲介、リノベーション、マンション開発、プロパティマネジメント、ユニットハウスの製造販売・レンタルなど、全国規模で総合不動産事業を展開しております。

豊栄建設株式会社は昭和53年の創業以来、「チャレンジ999シリーズ」に代表されるオリジナリティの高い戸建て注文住宅ブランドを展開し、北海道地区においてトップクラスの認知度と累計4,000棟を超える施工実績を有しております。

当社が「不動産ビジネス」をストック型のビジネスモデルに変革して行くにあたり、同社の持つ戸建て注文住宅の施工・販売ノウハウのみならず、過去の施工実績を活用することで、リフォームや建て替え、買い替えのニーズを具体化することが可能となり、また流通・仲介、リノベーションとのシナジーも実現することとなり、当社の「不動産ビジネス」はより厚みを増すこととなります。

当社は、総合不動産業としての総合力を活かし、豊栄建設株式会社の事業成長を推し進めてまいります。

2. 異動する子会社（豊栄建設株式会社）の概要

(1) 名 称	豊栄建設株式会社
(2) 所 在 地	札幌市中央区北五条西十一丁目15番地4
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 古澤 政治
(4) 事 業 内 容	住宅販売事業、不動産賃貸事業、リフォーム事業
(5) 資 本 金	20百万円
(6) 設 立 年 月 日	平成1年5月9日（創業昭和53年2月）
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	個人株主 (100%)

(8) 上場会社と当該会社との間の関係	当社との間に記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	平成25年12月期	平成26年12月期	平成27年12月期
純資産	1,485百万円	1,658百万円	1,827百万円
総資産	7,243百万円	6,832百万円	6,520百万円
1株当たり純資産	3,714千円	4,145千円	4,567千円
売上高	6,377百万円	7,175百万円	7,269百万円
営業利益	101百万円	225百万円	330百万円
経常利益	57百万円	265百万円	338百万円
当期純利益	▲21百万円	103百万円	182百万円
1株当たり当期純利益	▲52千円	259千円	455千円
1株当たり配当金	—	—	—

(注) 個人株主の意向により氏名を非開示としております。なお、下記のとおり当該個人株主が株式取得の相手先であります。また、平成25年12月期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益は豊栄建設株式会社連結前の単体実績となります。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	個人株主 (1名)
(2) 住所	北海道札幌市
(3) 上場会社と当該個人との関係	資本関係、人的関係および取引関係はありません。また、関連当事者には該当しません。

4. 取得株式数、取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0.0%)
(2) 取得株式数(予定)	400株 (議決権の数: 400個)
(3) 異動後の所有株式数(予定)	400株 (議決権の数: 400個) (議決権所有割合: 100.0%)

(注) 取得価額は当社の連結純資産の15%以上ではありますが、株式取得の相手先の意向により非開示としております。

5. 取得価額の算定根拠

取得価額につきましては、ディスカунテッド・キャッシュ・フロー法 (いわゆる DCF 法) および類似会社比較法 (いわゆる EV/EBITDA 倍率法) による第三者の簡易株式価値評価報告書の評価範囲内に収束しております。

6. 日 程

(1) 取締役会決議日	平成28年12月22日
(2) 契約締結日	平成28年12月22日
(3) 株式譲渡日	平成29年1月31日(予定)

7. 今後の見通し

現時点で、当連結会計年度の業績予想に与える影響はありません。今後、修正の必要性および公表すべき事項が生じた場合にはすみやかに開示いたします。

以 上